

令和5年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	天神エリア賑わい創出委員会
事業名	こども食堂(欠食支援)事業
事業費(うち支援額)	223,500円



■事業目的

経済状況の悪化をうけ、学校給食のない休日において、子どもへ毎日食事を提供できない貧困家庭が増加しています。そんな状況下で子どもも安定した心を保つことは容易ではありません。また大学生も、アルバイト先の減少等によって、以前に増して社会との繋がりが気薄となっており、精神的にも経済的にも不安定な生活を送っているという事態があります。そういった状況を受け、定期的に食事を提供する場を設けることで、経済的支援だけでなく、直接人と触れ合う中で得られる安心感といった、心の支援も普及させていきたいと考えています。

■事業内容

松江市内の複数の既存店舗を利用して月1～2回程度(長期休暇中は5回以上)「まちのごはん」を開催しています。大学生以下は無料で利用できますが、大人も300円で同じ食事を食べることができる仕組みとしており、貧困家庭だけではなく、一人暮らしで普段孤食となっている人、人の作ってくれたご飯が食べたくなった人、または人との触れ合いを求める人。そんな人々の憩いの場となっています。メニューは日替わりで、店舗での食事はもちろん、テイクアウトもできる形をとっており、利用する方々が望む形で食事がとれるよう工夫しています。

人のつくってくれた温かな食事を人と一緒に食べることで、訪れたら誰でもほっとできる場となるように努力しながら活動をしています。

■事業成果と今後の展望

令和5年度は、月1回程度(夏休みは10回)開催し、定期的に活動を続けています。また、本年度は新たな試みとして、協力店舗による合同開催を3回開催しました。この合同開催のうち、秋の開催では、天神ロータリー広場を会場としたことで、多くの子ども達や近隣住民の方に加え、偶然立ち寄った方々もおられ、食の提供だけでなく、私たちの活動を知っていただくという意味でも、とても価値ある開催となりました。

令和6年度も、これまでと同様に近隣店舗の方々と協力しながら、活動を継続していきたいと考えています。また、昨年度も多くの方々から食材や人員という面でご支援いただきましたが、今後も活動を続けていくにあたり、資金面でも継続可能な活動となるよう、試行錯誤を続けていこうと考えています。私たちが目指すのは、限られた人しか利用できない食堂ではなく、誰もが気軽に利用できる食堂です。人が作ってくれた美味しい食事を人と一緒に食べる。自然と笑顔があふれてくるそんな場所。「いつでもどこでもまちのごはん」を目標に今後も邁進してまいります。